

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	気候変動の影響を踏まえた防波堤の性能照査手法および適応策に関する検討業務
業務場所	国土技術政策総合研究所
業種種別	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和5年7月21日
履行期間（至）	令和6年3月22日
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所副所長 高野 誠紀 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
契約を締結した日	令和5年7月21日
契約の相手方の商号又は名称及び住所	気象変動の影響を踏まえた防波堤の性能照査手法および適応策に関する検討業務 沿岸技術研究センター・エコー設計共同体
	（代表者）一般財団法人沿岸技術研究センター 代表理事・理事長 宮崎 祥一  東京都港区西新橋1-14-2
随意契約によることとした会計法令の根拠条文	会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、モデル港湾における防波堤を対象として、気候変動に対する各種適応策や性能照査手法、および対策優先順位に関する検討を行い、気候変動の影響を考慮した場合の設計上の課題をとりまとめるものである。</p> <p>気候変動に対する各種要求性能を満たす対策断面の検討や、港湾機能に対する重要性を踏まえた対策優先順位の検討にあたっては、その方法が確立されていない中で、今後の検討のモデルとなるような具体的な検討を行う必要があることから、柔軟な構想力・応用力が求められる。加えて、性能照査手法の変更に対する防波堤断面への影響評価を実施し、気候変動に対応した防波堤に関する設計を実施する際の課題を網羅的にとりまとめる必要があることから、防波堤の設計に関して高度で幅広い専門知識が求められる。以上のことから、提出された技術提案書に基づき、具体的な業務の取り組み方法等を見極めることで、優れた成果を期待できる簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により選定を行った。</p> <p>その結果、2者から技術提案があり、業務実施条件を満たした2者の業務実績及び技術提案書の内容等を総合的に評価した結果、上記法人が本業務を遂行するのに最もふさわしい法人であると判断された。</p> <p>以上の理由から上記法人を選定し、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。</p>
予定価格 （消費税及び地方消費税含む）	¥39,963,000
契約金額 （消費税及び地方消費税含む）	¥39,820,000
落札率	99.64%
再就職の役員の数	

## プロポーザルの評価結果

- |                  |  |
|------------------|--|
| 1. 業務名           | 気候変動の影響を踏まえた防波堤の性能照査手法および適応策に関する検討業務                   |
| 2. 特定した提案者       | 気候変動の影響を踏まえた防波堤の性能照査手法および適応策に関する検討業務沿岸技術研究センター・エコ設計共同体 |
| 3. 特定した提案者の住所    | 東京都港区西新宿1-14-2   |
| 4. 特定した提案者の代表者氏名 | 宮崎 祥一  |
| 5. 特定日           | 令和5年 7月5日  |

項 目	配点	沿岸技術研究センター・エコ設計共同体			
<b>1. 技術者資格</b>					
配置予定管理技術者の技術者資格等	5	4			
<b>2. 業務実績</b>					
同種又は類似業務の実績	5	5			
<b>3. 業務成績及び表彰</b>	10	5			
「配置予定管理技術者」の平成30年度から令和3年度末までに完了した、国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)、全地方整備局及び沖縄総合事務局(すべて港湾空港関係)発注の建設コンサルタント等業務において、管理技術者及び担当技術者として従事した業務の技術者評定点の平均点	5	5			
「配置予定管理技術者」の平成30年度から令和3年度までに完了した業務の技術者表彰の有無	5	0			
<b>4. 技術提案書の内容</b>	120.0	93.0			
1) 実施方針・業務フロー	30.0	18.0			
2) 特定テーマに関する技術提案	90.0	75.0			
特定テーマ1					
将来気候を踏まえた防波堤に対する各種適応策を検討する上での留意点	45.0	36.0			
特定テーマ2					
防波堤の消失区間を考慮した港内静穏度の効率的な算定にあたっての留意点	45.0	39.0			
<b>合 計</b>	140	107			